

事業番号	事務事業名	多様な森林づくり推進事業			所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己	
04030	政策名	2	地域経済を支える里づくり			係名	林務係	担当者・シート作成者	阿部 良文
	施策名	22	林業の振興			根拠法令等	鏡野町多様な森林づくり推進事業補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	里山の保全及び水源かん養等森林の持つ公益的機能の回復を図るとともに、町民の森林づくりに関する理解を深めるため、里山保全活動を行う団体に補助を行う。(おかやま森づくりサポートセンターの会員である「おみの山を守る会」の竹林整備及び植林活動に補助)	令和元年度に里山の竹林が荒廃し、地元で整備を行うに当たり、支援要望があり、近年竹林を中心とする里山の荒廃が進んでいることから、里山の持つ公益的機能の回復を図る必要があり、事業化を行った。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町内の里山保全グループ	ア 町内のおかやま森づくりサポートセンター会員数	団体	見込 実績			1 1		
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 里山整備の増加につなげる	ア 里山整備活動面積	m ²	目標 実績 達成率			4,300 4,300 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 里山整備の活動	ア 各団体の年間平均活動回数	回	目標 実績 達成率			5 5 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 06	項 02	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号	
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	47	01	多様な森林づくり推進事業					04030	
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算 (千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源			1,628			1,628	一般財源			1,628			1,628
合計	0	0	1,628	0	0	1,628	合計(A)	0	0	1,628	0	0	1,628
財源名称	従事正職員人数									2			2
	延べ業務事務時間									20			20
	人件費計(千円)(B)						0	0	67	0	0	67	
最終予算額		1,628 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		1,695		1,695	
主な 支出事業内容 (予算)	補助金						1,628 千円						
	主な 支出事業内容 (決算)						補助金						1,628 千円

事業番号	04030	事務事業名	多様な森林づくり推進事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
近年、竹林を中心とした里山の荒廃が進み、里山の持つ公益的機能の低下が問題となっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和2年度より開始。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地元住民を中心に里山整備に対する支援の強い要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	山林の荒廃防止には、里山整備も必要であり、町の政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	里山整備は、経済的に住民だけ行うことは困難であり、町が支援する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	地元住民を中心とした団体の里山整備であるため、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	里山整備を支援することにより、地元住民の里山整備活動を向上させる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	里山整備に対する住民活動が低下する。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	里山整備の初期支援であり、改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	里山整備の初期支援であり、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	里山整備に対する初期事業であったため、事業化等に人件費を要したが、今後は削減余地がある。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	里山づくりを支援するおかやま森づくりサポートセンターの会員を対象とし、初期整備費用のみ補助しているため公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	里山の荒廃は、地域景観だけではなく、公益的機能も低下させるため、里山整備の事業を行うことは地域の里山の持つ魅力や地域住民の意識向上に大きな効果がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 事業効果を事業後も継続的に検証しながら、事業を行う必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								